

飛翔

発行責任者
平塚MAC
池田忠宏



歩く会・七夕飾り・料理の会

厳しい現況にまだ再開できず

新型コロナウイルスの感染は益々拡大し、全く終わりが見えません。途中下車したものの再出発できない部会もあります。平塚MACは高齢者が多く慎重な対応が必要で、今回は歩く会、七夕飾りボランティア、料理を楽しむ会の現況について寄稿をいただきました。

歩く会

五月に旧古河庭園と渋沢栄一資料館を計画

歩く会がまるで途中下車 園と、近代日本庭園の巨匠です。恐ろしい新型コロナウイルス 感染影響が続いています。を備えています。

本来ならば五月に予定していたのは「旧古河庭園と渋沢栄一資料館」でした。でもある飛鳥山公園に着き

旧古河庭園は明治の元勲、陸奥宗光の私邸でした。陸奥の次男が古河（財閥）家の養子となった縁故で、以後古河家の力で保存されてきました。

この陸奥の私邸は、あの鹿鳴館を手掛けた英人コンドル設計の煉瓦造りの洋館です。斜面に広がる洋風庭



子製紙」を立ち上げ、それを監督するため膝もとに私邸をおきました。

渋沢は数百もの企業や銀行を興し、成功させました

が一つとして私物化や財閥などを作りませんでした。

最近ではゴーツートラベルなどと、あたかもコロナ

が終息したような人出です。感染リスクを避けるために

は、さらに感染防止対策が求められのではありません。

早くコロナ感染終息のときを迎え、皆さんが安心して

きる時期を待って再開したいと思えます。和気あいあ

いと外歩きを楽しみませんか。

歩く会 今込祐弘 記

平塚七夕飾りボランティア

平塚のまつりを引き継ぐ

日本から、いや世界から「祭」が消えました。浅草の三社祭も神輿を担げず、トラックで渡御です。自分の住む町内でも、須賀の祭りが春も夏も神輿の渡御が

できませんでした。平塚の誇る「湘南ひらつか七夕まつり」も例外では

ありませんでした。寂しさを感じた会員の方も多かったことと思います。

MACの会員に限らず、世界の人々が新型コロナウ

ルスの収束を願っていることと思います。

ここはまさしく「ウイズコロナ」を実践し、「湘南ひらつか七夕まつり」の再開時にはぜひ皆さんと地元

平塚の七夕まつりを盛り上げたいと思います。

七夕飾りボランティア 杉山孝司 記



料理を楽しむ会

もう一度調理室で皆と楽しむ

MAC入会時から家内が自分に期待していたのが「料理を楽しむ会」でした。コロナに負けたので、あの中公民館の調理室

が再開できずに終わりました。でもこのままでは終われません。諸先輩が、

残念ながら今年度は一度も開催できずに終わりました。でもこのままでは終われません。諸先輩が、

事務局長からの お知らせ 新年会は中止です 新春恒例の新年会は新型コロナの感染拡大に伴ない今年度は中止になります。

次号は一月七日(木)です。お楽しみに

